

機械器具 74 医薬品注入器  
管理医療機器 医薬品ペン型注入器 70391000

シュアパル®  
SurePal®

\* **【警告】**  
注射の度に新しい注射針を使用すること。[感染症の原因や、液漏れ又は針詰まりにより正常に注射できないおそれがある。]

\* **【禁忌・禁止】**  
本品及び注射針を複数の患者に使用しないこと。[感染症の原因となるおそれがある。]

**【形状・構造及び原理等】**

〈構成〉

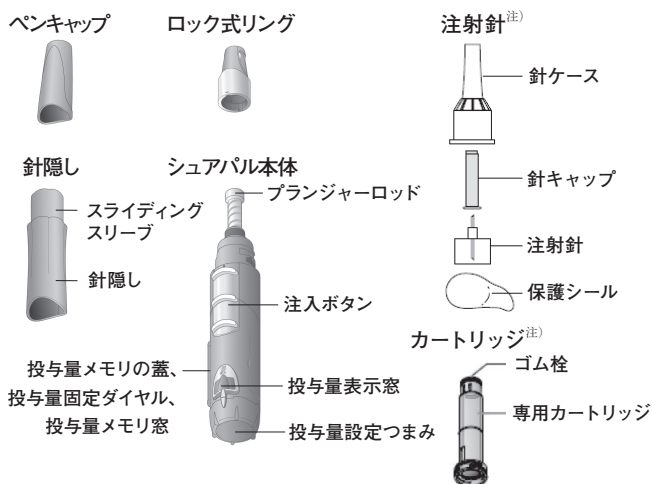
本品は、シュアパル本体、ペンキャップ、ロック式リング及び針隠しから構成される下記のヒト成長ホルモン製剤カートリッジ専用のペン型注入器である。本品は JIS T 3226-2 が規定する A 型の専用注射針を取り付けて使用する。

また、本品には、シュアパル本体を保管及び保護する目的で保管ケースが付属する。

なお、本品には、専用注射針及び専用のカートリッジは含まれない。

ペン型注入器の種類	専用のカートリッジの種類	ペン本体の色	1回に設定可能な投与量(mg)	単位設定刻み(mg)
シュアパル5	ソマトロピンBS皮下注5mg「サンド」シュアパル	白	0.05~2.7	0.05
シュアパル10	ソマトロピンBS皮下注10mg「サンド」シュアパル	緑	0.10~5.4	0.10

〈構造〉



注)本品に注射針及びカートリッジは付属していない。

〈動作原理〉

本品は、投与量固定ダイヤルを回転させ、投与量メモリ窓に表示される数値又は点線により投与量を固定する。注入ボタンを押下げるとロッドが前方に移動し、装着したカートリッジのプランジャーが前進することにより、取り付けした注射針からヒト成長ホルモンが注入される。投与途中で薬液がなくなった場合、投与量表示窓に不足分の投与量が示される。

**【使用目的又は効果】**

本品は、専用のカートリッジ及びペン型注入器用注射針を取り付けて使用し、皮下へ医薬品(ヒト成長ホルモン製剤)を注入するペン型注入器である。

\* **【使用方法等】**

詳細については取扱説明書を必ず参照すること。

1. 投与量の固定

投与量メモリの蓋を開け、投与量固定ダイヤルを回し、指示された投与量を投与量メモリ窓の横にある矢印に合わせる。その後、投与量メモリの蓋を確実に閉じることにより、投与量が固定される。

**【注意】**

- (1)投与量固定の際、投与量設定つまみは回さないこと。
- (2)投与量メモリの蓋が確実に閉じていないと、固定した投与量に変更されるおそれがある。

2. カートリッジの取り付け

ペンキャップを取り外し、シュアパル本体からロック式リングを回し外す。カートリッジ先端をロック式リングの広がっている方から挿入する。カートリッジを引きながら少し回し、ロック式リングにカチッと音がするまで完全に挿入する。カートリッジを挿入したロック式リングを回しながらシュアパル本体に戻し、ロック式リングの印(曲線)とシュアパル本体の印(点)とを合わせる。

**【注意】**

取り付け時に薬液が無色澄明でない場合又はひび等の破損が見られる場合は、そのカートリッジを使用しないこと。

3. 注射針の取り付け

カートリッジ先端のゴム栓を消毒用エタノール綿等で拭いた後、注射針の保護シールをはがし、注射針をシュアパル本体に回しながら取り付け、注射針の針ケースのみを外す。この時、注射針の針キャップは取り外さないこと。

**【注意】**

- (1)保護シールが破損している注射針は使用しないこと。
- (2)針を斜めに取り付けるとゴム栓に刺す側の針が曲がり、薬液が出なくなるおそれがある。

取扱説明書を必ずご参照下さい

#### 4. 投与量の確認とリセット

投与量設定つまみを停止するまでゆっくり回して、投与量表示窓に表示された投与量を確認する。固定した投与量が表示されていない場合、カートリッジを挿入したロック式リングを回して外し、注入ボタンを押し下げ投与量表示窓の数字を「0」に戻す。その後、必要な投与量を再度固定し直すこと。

#### 5. 注射

##### (1)注射針を刺す時

###### ・針隠しを使用しない場合

注射部位を消毒用エタノール綿等で消毒する。注射針の針キャップを取り外し、針キャップは適正に廃棄する。注射部位の皮膚を片手で摘み、シユアパル本体を皮膚に垂直に保持し、注射針を注射部位に刺す。

###### ・針隠しを使用する場合

注射の間、注射針が見えないようにしたい場合は、針隠しを取り付けて使用することができる。注射部位を消毒用エタノール綿等で消毒する。シユアパル本体に取り付けた針隠しのスライディングスリーブをシユアパル本体の方向へ少し押し出すと、針キャップを取り外すことができる。片手で摘んだ注射部位にシユアパル本体を垂直に刺し、スライディングスリーブの可動部分が止まるまで押し込むことにより、注射針を正しく刺すことができる。

##### (2)注射針を刺した後

注入ボタンを押し下げると、薬液が自動的に注射され、投与量設定つまみが自動的に回転して停止し、投与量表示窓に「0」が表示される。投与量設定つまみの回転停止後、注射針を刺したまま10秒間保持する。その後、注射部位から注射針を抜き取る。注射を途中で停止する場合は注入ボタンを離し、再度注入ボタンを押し下げると注射が再開される。

##### [注 意]

注射針の針キャップを外した後は、注射針がどこにも触れないように注意すること。又、露出した注射針で誤って刺したりしないよう注意すること。[感染症の原因となるおそれがある。]

#### 6. 注射針の取り外し

注射後、針隠しを使用した場合は針隠しを慎重に取り外し、注射針に針ケースを取り付ける。ロック式リングを固定し、速やかに注射針を回して外す。使用済みの注射針は適正に廃棄すること。シユアパル本体はロック式リングにカートリッジを付けた状態でペンキャップを取り付け、保管ケースに入れ冷蔵庫(凍結を避け、2～8℃)で保管すること。

#### 7. カートリッジの交換

シユアパル本体から空のカートリッジの付いたロック式リングを回し外した後、ロック式リングから空のカートリッジを外す。新しいカートリッジをカチッと音がするまでロック式リングに挿入する。このカートリッジを取り付けたロック式リングをシユアパル本体に回して取り付ける。ロック式リングの印(曲線)とシユアパル本体の印(点)とが正確に合っていることを確認する。

#### 8. 投与量不足分の注射

注射の途中でカートリッジが空になった場合、投与量設定つまみの回転が途中で止まり、注射が停止する。この時、投与量表示窓に不足分が表示される。この場合は、以下の手順で不足分の投与量を注射することができる。

(1)注射針に針ケースを取り付け、注射針を回して外し、適正に廃棄する。

(2)空のカートリッジを7. **カートリッジの交換**に従い取り外す。この時に注入ボタンを押し下げると、投与量不足分の表示が消えるため注意すること。

(3)新しいカートリッジを7. **カートリッジの交換**に従い取り付ける。不足分の投与量は投与量表示窓に表示される。不足分の投与量は設定されたままになっているため、投与量設定つまみを操作しないこと。

(4)新しい注射針を取り付けた後、注射を続けることができる。

##### [組み合わせで使用する医療機器]

本品を使用する際には、専用のカートリッジ(ソマトロピンBS皮下注5mg「サンド」シユアパル又はソマトロピンBS皮下注10mg「サンド」シユアパル)及びJIS T 3226-2が規定するA型の専用注射針との組み合わせで使用すること。[本品はA型専用注射針との適合性の確認をBDマイクロファイナプラス™31G(8mm)で行っている。]

ただし、針隠しを取り付ける場合、使用できない注射針があるため注意すること。

例:「ペンニードル®プラス 32G 4mm」、「BDマイクロファイナ™プロ 32G×4mm」[針キャップが取り外せないため。]

#### \*【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- (1)使用する際は、手を石鹸で洗うなど清潔な状態で操作すること。
- (2)カートリッジが空の状態、無理に注入ボタンを押し下げたり、投与量設定つまみを回したりしないこと。
- (3)手技の不確かな患者が使用する場合は、操作法の訓練を受けた者の手助けを受けるように指導すること。
- (4)本品を操作するときは針先を人のいる方向に向けないこと。また、針刺し事故に十分注意すること。
- (5)本品の取扱いについて患者教育を十分に行うこと。
- (6)本品は注意深く取扱い、落としたり衝撃を与えたりしないこと。[故障の原因となる。]

#### \*【保管方法及び有効期間等】

##### 1. 保管方法

- (1)清潔な場所で保管すること。
- (2)使用後は注射針を外し、ペンキャップを取り付け、保管ケースに入れて保管すること。カートリッジを付けたまま保管する場合は、必ず冷蔵庫等の冷所(凍結を避け、2～8℃)で光を避けて保管し、4週間以内に使用すること。カートリッジを付けていない場合は室温で保管すること。
- (3)光、ほこり、汚染物質、極端な高温・低温は避けること。

##### 2. 使用期間

使用開始から2年 [自己認証(当社データ)による。]

#### \*【保守・点検に係る事項】

##### 使用者による保守点検事項

本品には水などの液体や洗剤を使用しないこと。汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ること。

**取扱説明書を必ずご参照下さい**

**\*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売

**サンド株式会社**

東京都港区虎ノ門1-23-1  
URL:<http://www.sandoz.jp/>

製造業者

Sandoz GmbH(オーストリア)

サンド ゲーエムベーハー

お問い合わせ先

サンド株式会社

〒105-6333 東京都港区虎ノ門1-23-1

オムニ・コールセンター(フリーダイヤル) 0120-062-256

受付：月曜日～金曜日(土・日、祝日及び当社休日を除く)の  
以下の時間

[薬剤に関するお問い合わせ] 9:00～17:00

[シニアパルに関するお問い合わせ] 8:30～22:30

**取扱説明書を必ずご参照下さい**